

履修ガイド2018

履修の手引き・シラバス

人間生活学部



藤女子大学

履修の手引き

人間生活学科

1. カリキュラムの概要

人間生活学科は、広く共生社会の実現に貢献する女性を育成するディプロマ・ポリシーを実現するために、以下の4つの学びの段階を設定して、カリキュラムを配置しています。

〈出会う〉人・社会・生活関連の知識・技能を習得し、視野を広げる科目

〈深める〉既有的知識・技能から課題の発見・探求し続ける科目

〈彩る〉学内外の実習・実験など、創造・体験・連携を重視した科目

〈極める〉各専門領域の深まりを基盤とした学修の総合的成果としての科目

これらの学びの順序の中で、学科共通科目と3つの専修の専門科目が配置されています。

1年次の学科共通科目は、「共生社会への招待」「衣食住生活のルーツ」「社会福祉論」「プロジェクトマネジメント入門」の4つが必須科目です。そのほかに、自分の興味や関心を問わず基礎的な知識や技能の修得を目指すために、「ボランティアと学び」「生活環境基礎」「現代の生活経営」「ソーシャルワーク入門演習」「子どもと福祉」「高齢者福祉論」「ソーシャルワーク論Ⅰ」「対人コミュニケーションの技法」「プロジェクトマネジメント基礎演習」が、3専修の専門科目から配置されています。この学科共通科目9科目の中から学びたい科目を選んで履修します。これらの科目をもとに、2年次からの専修を選択することになります。

2年次以降には、「女性リーダーシップ論」「課題発見フィールドワーク」「ライフステージと社会保障」が、つぎの3専修の科目群から学科共通科目として配置されています。これらの科目は、興味や関心にしたがって幅広く学ぶ、専門性を深める、あるいは卒業後の志望進路に沿って、自分で学びたい科目を選んで履修します。

『現代家政』

自らと社会の生活の質の向上(QOL)に貢献できる実践的能力を育成する専修です。家政学の専門知識を深めるために、「衣・食・住生活」及び「生活経営」「生涯発達」科目群を配置して、被服、食物、住居、生活経営・家族にかかわる内容を歴史・文化的な背景や自然科学的な視点を取り入れて多角的に学習します。また学んだ知識を実践するための、実習、実験、演習、プレゼンテーション等の科目が多く配置されています。多くの科目が、教員免許(家庭)取得に必要な科目と重なっています。

『社会福祉』

“自分自身”を活用し、社会福祉の専門性を基盤として、他者に寄り添い、自己実現を支援するソーシャルワーカーを育成する専修です。そのために、社会福祉に関するサービス・制度や専門的な方法について、実践的に学びます。

初年次（学科共通）に、ソーシャルワーカーを目指すための関心・意欲を高めるための「入門・概論科目」を配置します。専門科目群には「各論科目」及び「応用・発展科目」を配置し、利用者及び制度・サービス、地域社会のしくみについて、理解の深化を目指します。

『プロジェクトマネジメント』

多角的・多様な視点からプロジェクトを企画・運営する技能と経験を積むことができる専修です。論理的な考えを整理・表現する力を習得する「学びの技法科目」、他者と協働する力を習得する「ワークショップデザイン科目」、社会の課題を発見する力を習得する「ソーシャルプロジェクト科目」が配置されています。さらに、これらの科目で獲得した知識や技能を学外実践活動で活用する「プロジェクト・マネジメント科目」をとおして得た学修経験を、一般企業や公務員や教員、社会的企業活動など多彩な職業で活かします。

これらの3専修の科目群のほか、3年次に「チームビルディング演習」、4年次に「ライフマネジメント」が、3専修の専門科目から学科共通科目に配置されています。「人間生活学研究演習」と「卒業研究演習」「卒業研究」は後述します。

3つの専修の専門科目は初年次から配置されていますが、1～2年次の学習は、大学共通科目の教養科目や外国語の科目群から多く履修しなければなりません。

こうした科目群は、本学建学の精神を理解し、大学生としての教養を深め、外国語の修得や実用化を図るものです。

また、本学科では、次項に示す免許状・資格が取得可能です。取得を希望する場合、これらに必要な科目群の多くは1年次から履修が始まるので、可能性を閉ざさないよう熟慮した履修計画を立ててください。

このほか、他学科の科目や、札幌圏大学・短期大学単位互換制度（通称：グリーンキャンパス、2年次以降対象、23ページ参照）の科目、あるいは教職に関する科目も、上限はありますが卒業単位に含めることができます（15ページ参照）。他学科で開講される科目を履修する場合は、受け入れの可否を各学科の教育課程表で確認して下さい。

なお、1年間に履修登録できる単位数の上限は49単位です。ただし、資格取得に必要な科目は上限単位の中に含まない場合があるので該当するかどうかを確かめて履修登録して下さい（24ページ参照）。2年次終了までに50単位以上を取得していない場合は3年次に

進級できないので注意して下さい（30 ページ参照）。

2 年次から自分が選択した専修が指定する「選択必修単位」を履修し、3 年次からは教員ごとに開講されるゼミを選んで所属します（3 年次「人間生活学研究演習」、4 年次「卒業研究演習」）。3 年次に進級する際、学習したいテーマや指導してほしい教員について複数の希望をとり、ゼミが 10 名弱の少人数になるよう調整します。ゼミでは、担当教員と学生とが対話的なプロセスに基づいてテーマを設定して学習します。

3 年次のゼミは担当教員の指導のもとで実践的・応用的な課題に取り組み、4 年次の「卒業研究演習」では各自が研究テーマを設定して学習を集成し、さらに「卒業研究」に取り組んで、4 年間の学習の成果を卒業研究へと結実させます。

2 人間生活学科で取得可能な免許状・資格一覧

- ・ 中学校教諭一種免許状（家庭）
- ・ 社会福祉主事任用資格
- ・ 高等学校教諭一種免許状（家庭、福祉）
- ・ 司書となる資格
- ・ 社会福祉士国家試験受験資格
- ・ 司書教諭
- ・ スクールソーシャルワーカー
- ・ 社会調査士

3 履修モデル

ここに示す履修モデルは、人間生活学科の卒業要件をもとに、3 専修の特徴と各種の資格を取得するための要件を加えた標準的な例にすぎません。各自の学習目的によって異なりますので、担当教員の指導をもらいながら、これらを参考にして自らの履修計画を立ててください。

なお、* 指定科目とは、[教職に関する科目] のうち、「教育実習ⅠA」、「教育実習ⅠB」、「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」、「介護等体験」、「教職実践演習（中高）」を除いた科目を指します。

(1)人間生活学科を卒業するための必要単位

モデル1（現代家政専修基本モデル）

		1 年	2 年	3 年	4 年
大学共通科目	教養科目	聖 書 学 概 論 必修 2 単位 キリスト教学 必修 2 単位 人 間 学 概 論 必修 2 単位 情 報 処 理 必修 2 単位 女性とキャリア 必修 1 単位 運動の実践 A 必修 1 単位 運動の実践 B 必修 1 単位			
		選択科目（☆）			
	外国語科目	「Academic Communication I」 必修 1 単位 「Academic Communication II」 必修 1 単位 選 択 必 修 4 単位以上			
		選択科目（☆）			
学科専門科目	学科共通科目	共生社会への招待 必修 2 単位 衣食住生活のルーツ 必修 2 単位 社会福祉論 必修 2 単位 プロジェクトマネジメント入門 必修 2 単位 現代の生活経営 専修必修 2 単位		人間生活学演習 必修 4 単位	卒業研究演習 必修 4 単位 卒業研究 必修 4 単位
		選択科目（☆）			
	現代家政専修	選択必修科目：2 年次から選択した専修の条件にしたがって <u>40 単位以上</u> 履修する。 現代衣生活論 専修必修 2 単位 現代食生活論 専修必修 2 単位 現代住生活論 専修必修 2 単位 子育ての比較文化 専修必修 2 単位 家族と社会 専修必修 2 単位 このほか、現代家政専修が指定する選択科目（含む：学科共通科目「生活環境基礎」）から、 <u>28 単位以上</u> を修得すること			
		選択科目（☆）			
	他専修	選択科目（☆） 他専修の科目群の中から、履修可能な専門科目を選択すること。			
☆他学科専門科目		他学科開講科目のうち、12 単位まで選択可			
☆教職に関する科目		＊指定科目のうち、12 単位まで選択可			
☆他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）		合わせて 12 単位まで選択可			
☆他大学等で修得した科目		12 単位まで選択可			

【留意点】選択科目は、選択科目（☆）、並びに、☆から選択し、計 50 単位以上履修すること。

モデル2（社会福祉専修基本モデル）

		1 年	2 年	3 年	4 年
大学共通科目	教養科目	聖書学概論 必修2単位 キリスト教学 必修2単位 人間学概論 必修2単位 情報処理 必修2単位 女性とキャリア 必修1単位 運動の実践 A 必修1単位 運動の実践 B 必修1単位			
		選択科目（☆）			
	外国語科目	「Academic Communication I」 必修1単位 「Academic Communication II」 必修1単位 選 択 必 修 4 単位以上			
学科専門科目	学科共通科目	共生社会への招待 必修2単位 衣食住生活のルーツ 必修2単位 社会福祉論 必修2単位 プロジェクトマネジメント入門 必修2単位 ソーシャルワーク入門演習 専修必修2単位 子どもと福祉 専修必修2単位 高齢者福祉論 専修必修2単位 ソーシャルワーク論Ⅰ 専修必修2単位		人間生活学演習 必修4単位	卒業研究演習 必修4単位 卒業研究 必修4単位
		選択科目（☆）			
	主専修	選択必修科目：2年次から選択した専修の条件にしたがって <u>40 単位以上</u> 履修する。 ソーシャルワーク論Ⅱ 専修必修2単位			
		このほか、社会福祉専修が指定する選択科目（含む：学科共通科目「ライフステージと社会保障」）から、 <u>28 単位以上</u> を修得すること			
	他専修	選択科目（☆）			
		他専修の科目群の中から、履修可能な専門科目を選択すること。			
	☆他学科専門科目		他学科開講科目のうち、12 単位まで選択可		
☆教職に関する科目		＊ 指定科目のうち、12 単位まで選択可			
☆他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）		合わせて 12 単位まで選択可			
☆他大学等で修得した科目		12 単位まで選択可			

【留意点】 選択科目は、選択科目（☆）、並びに、☆から選択し、計 50 単位以上履修すること。

モデル3（プロジェクトマネジメント専修基本モデル）

		1 年	2 年	3 年	4 年	
大学共通科目	教養科目	聖 書 学 概 論 必修 2 単位 キリスト教学 必修 2 単位 人 間 学 概 論 必修 2 単位 情 報 処 理 必修 2 単位 女性とキャリア 必修 1 単位 運動の実践 A 必修 1 単位 運動の実践 B 必修 1 単位				
		選択科目（☆）				
	外国語科目	「Academic Communication I」 必修 1 単位 「Academic Communication II」 必修 1 単位 選 択 必 修 4 単位以上				
	選択科目（☆）					
学科専門科目	学科共通科目	共生社会への招待 必修 2 単位 衣食住生活のルーツ 必修 2 単位 社会福祉論 必修 2 単位 プロジェクトマネジメント入門 必修 2 単位 プロジェクトマネジメント発展演習 専修必修 2 単位	女性リーダーシップ論 専修必修 2 単位	人間生活学演習 必修 4 単位	卒業研究演習 必修 4 単位 卒業研究 必修 4 単位	
		選択科目（☆）				
	マネジメント専修	選択必修科目：2 年次から選択した専修の条件にしたがって 40 単位以上履修する。 論理的思考の技法 専修必修 1 単位 ワークショップデザイン 専修必修 2 単位 ワークショップデザイン基礎演習 専修必修 2 単位 デザイン思考の技法 専修必修 1 単位 プロジェクトマネジメントⅠ 専修必修 2 単位 プロジェクトマネジメントⅡ 専修必修 2 単位 ワークショップ入門 専修必修 2 単位 議論の技法 専修必修 1 単位 プロジェクトマネジメントⅢ 専修必修 2 単位 プレゼンテーションの技法 専修必修 1 単位 このほか、プロジェクトマネジメント専修が指定する選択科目（含む：学科共通科目「対人コミュニケーションの技法」「ボランティアと学び」「チームビルディング演習」）から、20 単位以上修得すること				
		選択科目（☆）				
		他専修	選択科目（☆） 他専修の科目群の中から、履修可能な専門科目を選択すること。			
	☆他学科専門科目		他学科開講科目のうち、12 単位まで選択可			
☆教職に関する科目		＊指定科目のうち、12 単位まで選択可				
☆他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）		合わせて 12 単位まで選択可				
☆他大学等で修得した科目		12 単位まで選択可				

【留意点】選択科目は、選択科目（☆）、並びに、☆から選択し、計 50 単位以上 履修すること。

(2) 人間生活学科の各資格を取得するための必要単位（主専修モデル+教員免許）

モデル1：卒業+教員免許取得（中一種〈家庭〉・高一種〈家庭〉）

		1 年	2 年	3 年	4 年
大学共通科目	教養科目	聖書学概論 必修2単位 キリスト教学 必修2単位 人間学概論 必修2単位 情報処理 必修2単位 女性とキャリア 必修1単位 運動の実践A 必修1単位 運動の実践B 必修1単位			
		選択科目（☆）			
		このうち、教員免許取得のためには、「日本国憲法」（2単位）が必修			
	外国語科目	「Academic Communication I」 必修1単位 「Academic Communication II」 必修1単位 選択必修 4単位以上			
		選択科目（☆）			
学科専門科目	学科共通科目	共生社会への招待 必修2単位 衣食住生活のルーツ 必修2単位 社会福祉論 必修2単位 プロジェクトマネジメント入門 必修2単位		人間生活学演習 必修4単位	卒業研究演習 必修4単位 卒業研究 必修4単位
		選択科目（☆）			
		このうち、教員免許取得のための「教科に関する科目」（家庭）20単位以上を含めること また、2年次から選択した専修が指定する条件にしたがって、必要な選択科目（☆）を履修すること。			
	主専修	選択必修科目：2年次から選択した専修の条件にしたがって40単位以上履修すること。 そのうち、次のとおり専修ごとに定める科目の単位を必ず修得すること。 現代家政専修：12単位 社会福祉専修：10単位 プロジェクトマネジメント専修：20単位			
		選択科目（☆）			
	他専修	選択科目（☆） 他専修の科目群の中から、履修可能な専門科目を選択すること。			
☆他学科専門科目		他学科開講科目のうち、12単位まで選択可			
☆教職に関する科目		* 該当教科の指導法を含めた必修単位			
☆他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）		合わせて12単位まで選択可			
☆他大学等で修得した科目		12単位まで選択可			

【留意点】選択科目は、選択科目（☆）、並びに、☆から「教科に関する科目」（家庭）20単位を含めて選択し、計 50 単位以上 履修すること。

モデル2：卒業＋教員免許（中・高一種〈家庭〉＋高一種〈福祉〉）

		1 年	2 年	3 年	4 年
大学共通科目	教養科目	聖書学概論 必修2単位 キリスト教学 必修2単位 人間学概論 必修2単位 情報処理 必修2単位 女性とキャリア 必修1単位 運動の実践A 必修1単位 運動の実践B 必修1単位			
		選択科目（☆）			
		このうち、教員免許取得のためには、「日本国憲法」（2単位）が必修			
	外国語科目	「Academic Communication I」 必修1単位 「Academic Communication II」 必修1単位 選 択 必 修 4 単位以上			
学科専門科目	学科共通科目	共生社会への招待 必修2単位 衣食住生活のルーツ 必修2単位 社会福祉論 必修2単位 プロジェクトマネジメント入門 必修2単位		人間生活学演習 必修4単位	卒業研究演習 必修4単位 卒業研究 必修4単位
		選択科目（☆）			
		このうち、教員免許取得のための「教科に関する科目」（家庭）20単位以上と「教科に関する科目」（福祉）20単位以上を含めること また、2年次から選択した専修が指定する条件にしたがって、必要な選択科目（☆）を履修すること。			
	主専修	選択必修科目：2年次から選択した専修の条件にしたがって40単位以上履修すること。 そのうち、次のとおり専修ごとに定める科目の単位を必ず修得すること。 現代家政専修：12単位 社会福祉専修：10単位 プロジェクトマネジメント専修：20単位			
		選択科目（☆）			
	他専修	選択科目（☆） 他専修の科目群の中から、履修可能な専門科目を選択すること。			
	☆他学科専門科目	他学科開講科目のうち、12単位まで選択可			
☆教職に関する科目		* 該当教科の指導法を含めた必修単位			
☆他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）		合わせて12単位まで選択可			
☆他大学等で修得した科目		12単位まで選択可			

【留意点】選択科目は、☆、並びに、選択科目（☆）から「教科に関する科目」（家庭）20単位・（福祉）18単位以上を含めて選択し、計 50 単位以上 履修すること。

モデル3：卒業＋社会福祉士国家試験受験資格

		1年	2年	3年	4年
大学共通科目	教養科目	聖 書 学 概 論 必修 2 単位 キリスト教学 必修 2 単位 人 間 学 概 論 必修 2 単位 情 報 処 理 必修 2 単位 女性とキャリア 必修 1 単位 運動の実践 A 必修 1 単位 運動の実践 B 必修 1 単位			
		選択科目（☆）			
		このうち、「社会学」「心理学」の 2 科目 4 単位必修			
	外国語科目	「Academic CommunicationⅠ」 必修 1 単位 「Academic CommunicationⅡ」 必修 1 単位 選 択 必 修 4 単位以上			
		選択科目（☆）			
学科専門科目	学科共通科目	共生社会への招待 必修 2 単位 衣食住生活のルーツ 必修 2 単位 社 会 福 祉 論 必修 2 単位 プロジェクトマネジメント入門 必修 2 単位		人間生活学演習 必修 4 単位	卒業研究演習 必修 4 単位 卒 業 研 究 必修 4 単位
		ソーシャルワーク入門演習 専修必修 2 単位 子どもと福祉 専修必修 2 単位 高齢者福祉論 専修必修 2 単位 ソーシャルワーク論Ⅰ 専修必修 2 単位			
		選択科目（☆）			
		学科共通科目「社会福祉論」及び専修必修科目、専修選択必修、専修選択のうち、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「指定科目」32 科目 60 単位必修			
	社会福祉専修	選択必修科目：2 年次から選択した専修の条件にしたがって <u>40 単位以上</u> 履修する。 ソーシャルワーク論Ⅱ 必修 2 単位			
		このほか、社会福祉専修が指定する選択科目から、 <u>28 単位以上</u> を修得すること			
	他専修	選択科目（☆）			
		他専修の科目群の中から、履修可能な専門科目を選択すること。			
☆他学科専門科目		他学科開講科目のうち、12 単位まで選択可			
☆教職に関する科目		＊ 指定科目のうち、12 単位まで選択可			
☆他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）		合わせて 12 単位まで選択可			
☆他大学等で修得した科目		12 単位まで選択可			

【留意点】選択科目は、選択科目（☆）、並びに、☆から選択し、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「指定科目」を含めて計 50単位以上履修すること。

モデル 4：卒業＋社会福祉士国家試験受験資格＋＋スクールソーシャルワーク認定資格取得

		1 年	2 年	3 年	4 年
大学共通科目	教養科目	聖書学概論 必修 2 単位 キリスト教学 必修 2 単位 人間学概論 必修 2 単位 情報処理 必修 2 単位 女性とキャリア 必修 1 単位 運動の実践 A 必修 1 単位 運動の実践 B 必修 1 単位			
		選択科目 (☆)			
		このうち、「社会学」「心理学」の 2 科目 4 単位必修			
	外国語科目	「Academic Communication I」 必修 1 単位 「Academic Communication II」 必修 1 単位 選 択 必 修 4 単位以上			
学科専門科目	学科共通科目	共生社会への招待 必修 2 単位 衣食住生活のルーツ 必修 2 単位 社会福祉論 必修 2 単位 プロジェクトマネジメント入門 必修 2 単位 ソーシャルワーク入門演習 専修必修 2 単位 子どもと福祉 専修必修 2 単位 高齢者福祉論 専修必修 2 単位 ソーシャルワーク論Ⅰ 専修必修 2 単位		人間生活学演習 必修 4 単位	卒業研究演習 必修 4 単位 卒業研究 必修 4 単位
		選択科目 (☆)			
		選択必修科目：2 年次から選択した専修の条件にしたがって <u>40 単位以上</u> 履修する。 ソーシャルワーク論Ⅱ 必修 2 単位			
	社会福祉専修	このほか、社会福祉専修が指定する選択科目から、 <u>28 単位以上</u> を修得すること			
		選択科目 (☆)			
	他専修	選択科目 (☆) 他専修の科目群の中から、履修可能な専門科目を選択すること。			
	☆他学科専門科目	他学科開講科目のうち、12 単位まで選択可			
☆教職に関する科目	☆他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）	* 指定科目のうち、12 単位まで選択可			
		このうち、スクールソーシャルワーク認定資格取得のための「指定科目」として「教育原理」「教育制度論」の中から 1 科目以上並びに「教育心理学Ⅰ」「教育心理学Ⅱ」の中から 1 科目以上必修			
☆他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）		合わせて 12 単位まで選択可			
☆他大学等で修得した科目		12 単位まで選択可			

【留意点】選択科目は、選択科目 (☆)、並びに、☆からスクールソーシャルワーク認定資格取得のための「指定科目」を選択し、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「指定科目」を含めて計 50 単位以上履修すること。

モデル5：卒業＋社会調査士認定資格取得

		1 年	2 年	3 年	4 年	
大学共通科目	教養科目	聖 書 学 概 論 必修 2 単位 キリスト教学 必修 2 単位 人 間 学 概 論 必修 2 単位 情 報 処 理 必修 2 単位 女性とキャリア 必修 1 単位 運動の実践 A 必修 1 単位 運動の実践 B 必修 1 単位				
		選択科目（☆）				
	外国語科目	「Academic Communication I」 必修 1 単位 「Academic Communication II」 必修 1 単位 選 択 必 修 4 単位以上				
学科専門科目	学科共通科目	共生社会への招待 必修 2 単位 衣食住生活のルーツ 必修 2 単位 社会福祉論 必修 2 単位 プロジェクトマネジメント入門 必修 2 単位 プロジェクトマネジメント発展 専修必修 2 単位	女性リーダーシップ論 専修必修 2 単位	人間生活学演習 必修 4 単位	卒業研究演習 必修 4 単位 卒業研究 必修 4 単位	
		選択科目（☆）				
	マネジメントプロジェクト専修	選択必修科目：2 年次から選択した専修の条件にしたがって 40 単位以上履修する。 論理的思考の技法 必修 1 単位 ワークショップデザイン 必修 2 単位 ワークショップデザイン基礎演習 必修 2 単位 デザイン思考の技法 必修 1 単位 プロジェクトマネジメントⅠ 必修 2 単位 プロジェクトマネジメントⅡ 必修 2 単位 ワークショップ入門 必修 2 単位 議論の技法 必修 1 単位 プロジェクトマネジメントⅢ 必修 2 単位 プレゼンテーションの技法 必修 1 単位				
		このほか、プロジェクトマネジメント専修が指定する選択科目（含む：学科共通科目「対人コミュニケーションの技法」「ボランティアと学び」「チームビルディング演習」）から、20 単位以上修得すること				
		選択科目（☆）				
	他専修	このうち、社会調査士認定資格取得のための科目を含めて選択すること。				
		選択科目（☆） 他専修の科目群の中から、社会調査士認定資格取得のための科目（含む：「社会福祉調査」と、学科共通科目「課題発見フィールドワーク」）と履修可能な専門科目を選択すること。				
☆他学科専門科目	他学科開講科目のうち、12 単位まで選択可					
☆教職に関する科目	* 指定科目のうち、12 単位まで選択可					
☆他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）	合わせて 12 単位まで選択可					
☆他大学等で修得した科目	12 単位まで選択可					

【留意点】選択科目は、☆、並びに、選択科目（☆）から選択し、計 50 単位以上 履修すること。

食物栄養学科

1 カリキュラムの概要

(1) 学科専門科目のカリキュラムの概要

食物栄養学科の学科専門科目のカリキュラムは、管理栄養士養成施設の指定基準に基づいて構成され、専門基礎分野と専門分野とから成り立っています。

専門基礎分野と専門分野は、それぞれ3つと8つの区分(教育内容)から成り立っています。

専門基礎分野の3つの区分は、「社会・環境と健康」・「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」・「食べ物と健康」です。

専門分野の8つの区分は、「基礎栄養学」・「応用栄養学」・「栄養教育論」・「臨床栄養学」・「公衆栄養学」・「給食経営管理論」・「総合演習」・「臨地実習」です。

「社会・環境と健康」では、人間や生活についての理解を深めるとともに、社会や環境と健康の関わりについて理解します。

「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」では、人体の構造や機能を系統的に理解し、主要疾患の成因、病態、診断、治療等についても理解します。

「食べ物と健康」では、食品の各種成分を理解し、食品の人体に対しての栄養面や安全面等への影響や評価について理解します。

「基礎栄養学」では、栄養とは何か、その意義について理解します。

「応用栄養学」では、身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解します。

「栄養教育論」では、健康・栄養状態・食行動・食環境等を総合的に評価・判定する能力を養い、実践的な健康・栄養教育の理論と方法を修得します。

「臨床栄養学」では、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた適切な栄養管理の方法について修得します。

「公衆栄養学」では、地域や職域等の健康・栄養問題を総合的に評価・判定する能力を養います。

「給食経営管理論」では、給食運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力を養います。

「総合演習」では、専門分野を横断して、栄養評価や管理が行える総合的な能力を養います。

「臨地実習」では、学外の実践活動の場(病院、保健センター、自衛隊給食等)での課題発見、解決を通して専門的知識および技術の統合を図ります。

学科専門科目は、全て互いに関連しています。貴女の好き嫌いに関係なく、その

都度確実に理解しながら、1年次から4年次へと進むように心掛けることが大切です。

(2) 外国語科目について

外国語科目では、「Academic Communication I・II」各1単位が必修で、その他に4単位を取得する必要があります。

英語以外の言語としては、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語が開講されています。新たな外国語を履修する場合には、1年間4単位のみよりは、2年間8単位学ぶことが望ましいでしょう。

新たな外国語ではなく、英語をさらに学ぶことも有意義です。例えば、インターネットを使うにも必要です。就職または進学した所で、研究のためや最新の情報を得るにも必要です。なぜなら、これらの情報は、英文で書かれていることがほとんどだからです。

なお、本学科のカリキュラムは、1年次に「Academic Communication I・II」（必修）を履修し、2年次に「科学英語」（選択）で理系の英文を、3年後期には「卒業演習Ⅰ」（必修）を、4年次に「卒業演習Ⅱ」（必修）で英語論文を読む機会があり、4年間英語を学べるように組まれています。

(3) 選択科目について

大学共通科目の選択科目

「数学」は、自然科学に属する分野が主となる本学科において、その基礎になる数学的な考え方を会得するために重要な科目です。大学の「数学」では、数学の技術を学ぶのではなく、考え方を学びます。

その他の科目は、大学を卒業する者として、広い教養をもつために必要な科目です。特定の分野に片寄らず、広く学んでおくことをお勧めします。

学問は分野によって考え方の基礎に違いがありますから、それぞれの分野の考え方を学んでおくことは重要です。

学科専門科目の選択科目

学科専門科目の選択科目は、学科専門科目を学ぶための基礎科目と、将来の進路によって選択する科目があります。

「はじめての化学」は、学科専門科目の、食品学・栄養学・生化学などに関する科目の基礎となります。高等学校の「化学」や「生物」と重複する部分もありますが、実験に必要な知識を学ぶ科目ですので、しっかり身につけておく必要があります。

「栄養統計学」は、公衆栄養学や栄養指導など、その基礎に統計の知識が必要な科目のために、学んでおくといでしょう。

専門知識を学ぶ時も職業活動をする時も、知識・情報の伝達手段として文章表現が最も重要です。食物栄養の知識を吸収し、社会で生かすためにも「文章表現演習Ⅰ・Ⅱ」で基本からしっかり学んで下さい。

3年次後期には「卒業演習Ⅰ」（必修）、4年次には「卒業演習Ⅱ」（必修）が開設されており、各人が一人の食物栄養学科専任教員を選び、その指導を受けます。このとき同時に「卒業研究」（選択）が開講されており、同時に選択することを強くお勧めします。

2 履修モデル

(1) 卒業＋管理栄養士国家試験受験資格取得のためには

	1 年	2 年	3 年	4 年
大学共通科目	「聖書学概論」 必修2単位 「キリスト教」 必修2単位 「人間学概論」 必修2単位 「情報処理」 必修2単位 「女性とキャリア」 必修1単位 「運動の実践A」 必修1単位 「運動の実践B」 必修1単位			
外国語科目	「Academic CommunicationⅠ」 必修1単位 「Academic CommunicationⅡ」 必修1単位 選 択 必 修： 4単位以上			
学科専門科目	卒業必修：90単位 卒業必修を除く管理栄養士必修：11科目20単位 （資格必修科目については教育課程表の「資格 管理栄養士」欄を参照） 管理栄養士選択必修：3科目から2科目4単位選択必修 （「臨床栄養学実習Ⅲ」「公衆栄養学実習」「給食経営管理実習Ⅱ」の3科目から2科目選択必修）			
選 択 科 目	他学科専門科目、他学部学科専門科目、教職に関する科目（指定科目*）、および協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）は、合わせて8単位まで選択単位として算入できる			

* 18、19、20 ページ参照

※上記、科目を履修することにより、食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格も取得可能となる。

(2) 卒業＋管理栄養士国家試験受験資格＋栄養教諭一種免許取得のためには

	1年	2年	3年	4年
大学共通科目	「聖書学概論」 必修2単位 「キリスト教学」 必修2単位 「人間学概論」 必修2単位 「情報処理」 必修2単位 「女性とキャリア」 必修1単位 「運動の実践A」 必修1単位 「運動の実践B」 必修1単位 「日本国憲法」 免許必修2単位			
外国語科目	「Academic Communication I」 必修1単位 「Academic Communication II」 必修1単位 選択必修： 4単位以上			
学科専門科目	卒業必修：90単位 卒業必修を除く管理栄養士必修：11科目20単位 (資格必修科目については教育課程表の「資格 管理栄養士」欄を参照) 管理栄養士選択必修：3科目から2科目4単位選択必修 (「臨床栄養学実習Ⅲ」「公衆栄養学実習」「給食経営管理実習Ⅱ」の3科目から2科目選択必修) 栄養に係る教育に関する科目：「学校栄養教育Ⅰ」2単位、「学校栄養教育Ⅱ」2単位			
教職に関する科目	24単位以上 (学生便覧の「教職課程履修要項」を参照)			

※上記、科目を履修することにより、食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格も取得可能となる。

(3) 卒業＋栄養士資格＋食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格取得のためには

	1年	2年	3年	4年
大学共通科目	「聖書学概論」 必修2単位 「キリスト教学」 必修2単位 「人間学概論」 必修2単位 「情報処理」 必修2単位 「女性とキャリア」 必修1単位 「運動の実践A」 必修1単位 「運動の実践B」 必修1単位			
外国語科目	「Academic Communication I」 必修1単位 「Academic Communication II」 必修1単位 選択必修： 4単位以上			
学科専門科目	卒業必修： 90単位 選択必修： 4単位 (「臨床栄養学実習Ⅲ」「公衆栄養学実習」「給食経営管理実習Ⅱ」の3科目から2科目選択必修)			
資格取得に必要な選択科目	共通選択科目(「環境と化学」)、学科専門科目(「はじめての化学」、「食品化学A」、「食と安全論B」)の中から1科目選択必修			
選択科目	共通選択科目・学科専門選択科目より15単位以上 (他学科専門科目、他学部学科専門科目、教職に関する科目(科目指定*)、および協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)は、合わせて8単位まで選択単位に算入できる)			

(4) 卒業＋栄養士資格＋フードスペシャリスト資格認定試験受験資格取得のためには

	1年	2年	3年	4年
大学共通科目	「聖書学概論」 必修2単位 「キリスト教学」 必修2単位 「人間学概論」 必修2単位 「情報処理」 必修2単位 「女性とキャリア」 必修1単位 「運動の実践A」 必修1単位 「運動の実践B」 必修1単位			
外国語科目	「Academic Communication I」 必修1単位 「Academic Communication II」 必修1単位 選択必修： 4単位以上			
学科専門科目	卒業必修： 90単位 選択必修： 4単位 (「臨床栄養学実習Ⅲ」「公衆栄養学実習」「給食経営管理実習Ⅱ」の3科目から2科目選択必修) 選択： フードスペシャリスト資格認定試験受験資格取得に必要な7科目 14単位			
選択科目	共通選択科目・学科専門選択科目より2単位以上 (他学科専門科目、他学部学科専門科目、教職に関する科目(指定科目*)、および協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)は、合わせて8単位まで選択単位として算入できる)			

* 18、19、20 ページ参照

保育学科

1 カリキュラムの概要

保育学科のカリキュラムは、学びの体系を示す「子ども教育専修」と「子ども生活支援専修」の2専修で構成されています。保育学科の学びの基礎となるのは、子どもそのものの理解です。子どもについての理解を基盤として、「子どもの学び」と「子どもの生活」という視点から、子どもやその周りの人々を支えるための知識や技術を4年間で学びます。

各専修は、それぞれいくつかの領域に区分されています。「子ども教育専修」の領域は、「保育の理論」「児童の理解」「障害児の理解」「保育の内容」「保育の基礎技能」の5つ、「子ども生活支援」は、「保育の理論」「児童の理解」「保育の内容」「保育の基礎技能」の4つに区分されています。また2専修の他に、両専修に共通した学びを得る「共通」をおいています。「共通」は「実習」「専門研究法」の2領域に区分されています。各区分の内容は以下のとおりです。

「保育の理論」では、教育、保育、社会福祉の基礎理論を学び、保育者として必要な保育に対する考え方、保育技術の基礎となる理論的知識を習得することを目指しています。

「児童の理解」「保育内容」では、対象となる乳幼児・児童の心理学、保健、栄養、音楽、美術といった視点から学ぶと同時に、保育内容の理論と実践の基礎を習得します。

「障害児の理解」には、特別支援学校教諭免許取得科目群を配し、障がい児の心理的側面、生理的側面、病理的側面からの理解と、障害児教育・保育実践のための理論と方法を学びます。

「保育の基礎技能」では専門的な保育技能を習得すると同時に感性豊かな人間性を追求し、生き生きとした保育を展開する実践力の習得を目指します。

「実習」では、それまでに修得した基礎理論の理解と基礎技能の習得を踏まえ、2年次には同じ学園の藤幼稚園と本学の実習協力園である羊丘藤保育園にて実習を行い、その後、学外の保育所（10日～20日）、福祉施設（10日～20日間）、幼稚園（4週間）で実習を行います。さらに児童厚生1級指導員資格取得希望者は児童館（20日間）での実習、また人数は限られますが、特別支援学校教諭免許の取得希望者は特別支援学校での障害児教育実習（2～3週間）を行う事になっています。

「専門研究法」では、保育現場で役立つ、より高度な専門技術や保育研究を構築するための知識・技術等が配置されています。4年次の「保育・教職実践演習（幼）」では、3年間の学びを確認し、実践者に必要な意識や実践力を各自深められるような演習となっています。また、「保育学研究演習」「卒業研究演習」は、主に演習形式で、保育学科の専任教員によるゼミナールに所属し、各自の問題意識に応じて研究を深める場となります。3年次

の「保育学研究演習」ではより深い専門知識を習得すると同時に、研究を進めるための基礎的トレーニングを行ないます。履修前に深めたい分野を絞っておくことが望ましいでしょう。「卒業研究演習」及び「卒業研究」は各自テーマを設定し、4年間の学修成果を論文や卒業制作としてまとめます。選択科目ですが履修することが望ましいでしょう。

本学科では、幼稚園教諭一種免許、保育士資格、特別支援学校教諭一種免許、児童厚生1級指導員資格の全ての資格取得が可能なようにカリキュラムを構成してあるため、開講科目が多くなっています。

以上のように本学科では、理論と実践科目を密接に配置し、実践能力を高め、優れた観察力、洞察力をもった保育者養成を目指します。そのため、学内における基礎理論の習得と同時に学外における実習が大きな比重を占めています。

この学科で何を学ぶのかは皆さん自身にかかっています。卒業後の進路を模索しつつ、充実した大学生活であるようにと教職員一同願っています。

2 履修モデル

モデル1：卒業＋幼稚園教諭一種免許取得＋保育士資格取得

	1 年	2 年	3 年	4 年
教 養 科 目	必修：11 単位			
	「日本国憲法」 2 単位必修			
外 国 語 科 目	「Academic Communication I」 1 単位必修 「Academic Communication II」 1 単位必修 選択必修： 4 単位以上			
学科専門科目	幼稚園教諭一種免許を取得するために定められた、「教科に関する科目」、「教職に関する科目」を履修			
	保育士資格取得のための ・ 必 修：「告示による科目」 57 単位・「保育実習Ⅱ」 2 単位・ 「保育実習指導Ⅱ」 1 単位 ・ 選択必修：「告示による科目」のうち 6 単位以上			

モデル2：卒業＋幼稚園教諭一種免許＋特別支援学校教諭一種免許取得

	1 年	2 年	3 年	4 年
教 養 科 目	必修：11 単位			
	「日本国憲法」 2 単位必修			
外 国 語 科 目	「Academic Communication I」 1 単位必修 「Academic Communication II」 1 単位必修 選択必修：4 単位以上			
学科専門科目	・ 幼稚園教諭一種免許を取得するために定められた、「教科に関する科目」、「教職に関する科目」を履修 ・ 特別支援学校教諭一種免許を取得するために定められた指定科目を履修			

モデル3：卒業＋幼稚園教諭一種免許＋特別支援学校教諭一種免許取得＋保育士資格取得

	1 年	2 年	3 年	4 年
教 養 科 目	必修：11 単位			
	「日本国憲法」 2 単位必修			
外 国 語 科 目	「Academic Communication I」 1 単位必修 「Academic Communication II」 1 単位必修 選択必修： 4 単位以上			
学科専門科目	・ 幼稚園教諭一種免許を取得するために定められた、「教科に関する科目」、「教職に関する科目」を履修 ・ 特別支援学校教諭一種免許を取得するために定められた指定科目を履修			
	保育士資格取得のための ・ 必 修：「告示による科目」 57 単位・「保育実習Ⅱ」 2 単位・ 「保育実習指導Ⅱ」 1 単位 ・ 選択必修：「告示による科目」のうち 6 単位以上			

モデル4：卒業＋幼稚園教諭一種免許＋特別支援学校教諭一種免許取得＋保育士資格＋児童厚生1級指導員資格取得

	1 年	2 年	3 年	4 年
教 養 科 目	必修：11 単位			
	「日本国憲法」 2 単位必修			
外 国 語 科 目	「Academic Communication I」 1 単位必修 「Academic Communication II」 1 単位必修 選択必修： 4 単位以上			
学科専門科目	・ 幼稚園教諭一種免許を取得するために定められた、「教科に関する科目」、「教職に関する科目」を履修 ・ 特別支援学校教諭一種免許を取得するために定められた指定科目を履修			
	・ 必 修：「告示による科目」 57 単位・「保育実習Ⅱ」 2 単位・ 保育士資格取得のための「保育実習指導Ⅱ」 1 単位 ・ 選択必修：「告示による科目」のうち 6 単位以上			
	児童厚生 1 級指導員資格を取得するために定められた指定科目を履修			